

株式会社 トリケミカル研究所
第45期(2023年1月期)
決算説明資料

東京証券取引所
証券コード:4369

1. 2023年1月期業績

単位：百万円

	(ご参考) 22.1期	23.1期	増減額	増減率
売上高	11,574	13,803	2,228	19.3%
営業利益	2,976	3,504	528	17.8%
経常利益	5,294	6,186	891	16.8%
当期純利益	4,095	4,832	737	18.0%

売上は9期連続で過去最高を更新
(各利益は8期連続で過去最高)
経常利益に持分法投資利益2,409百万円

単位：百万円

	23.1期末	(ご参考) 22.1期末	増減額
流動資産	18,922	14,386	4,536
固定資産	13,192	13,902	-709
資産合計	32,115	28,288	3,826
流動負債	3,675	3,465	210
固定負債	2,563	3,503	-939
負債合計	6,239	6,968	-729
株主資本	25,265	21,083	4,182
その他包括利益累計額	610	236	373
純資産合計	25,876	21,320	4,555
負債純資産合計	32,115	28,288	3,826

主な増減要因

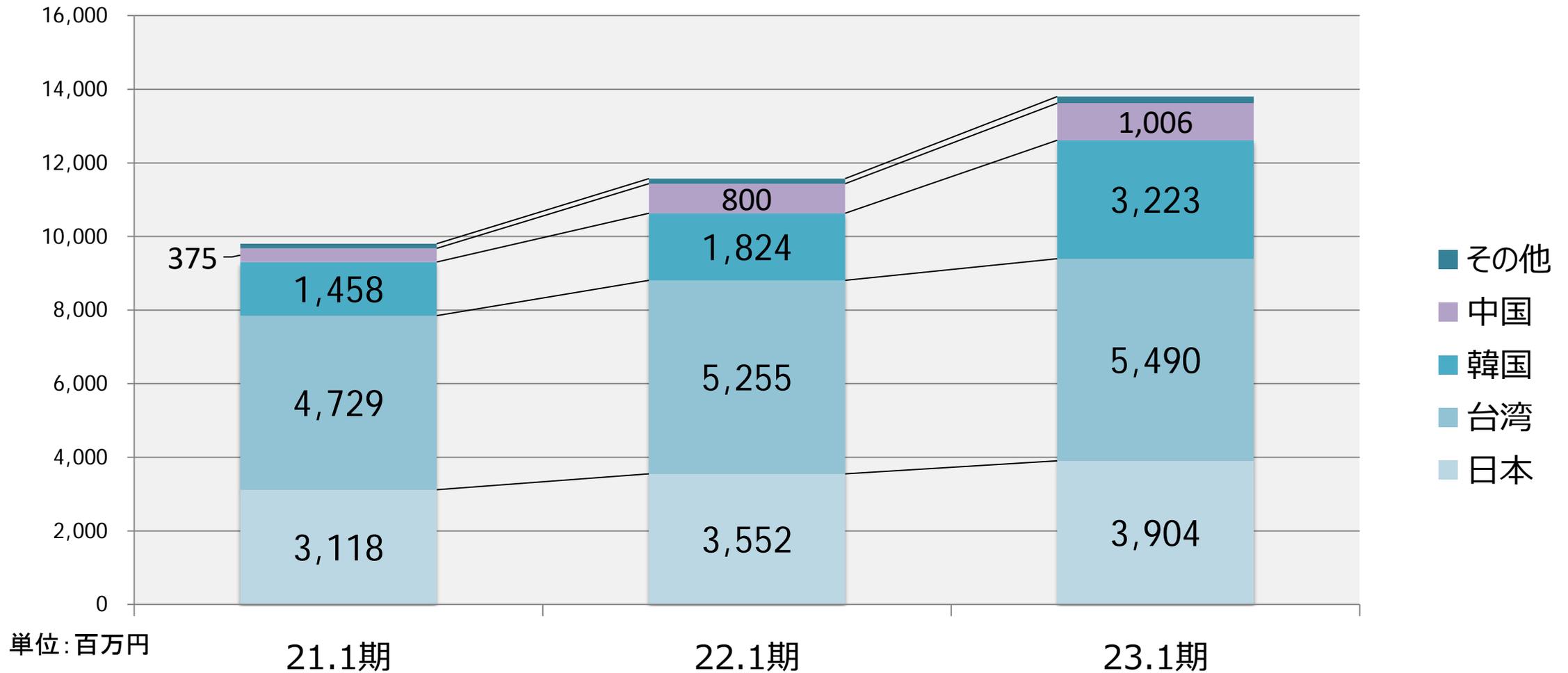
流動資産	現金及び預金の増加	+3,103
	売掛債権の増加	+665
	棚卸資産の増加	+589
固定資産	持分法適用会社からの配当等に伴う 投資有価証券減少	-1,135
	設備投資に伴う有形固定資産の増加	+358
流動負債	買掛金の増加	+528
	1年内返済予定長期借入金減少	-175
	未払金の減少	-133
固定負債	長期借入金の減少	-785
純資産	純利益計上による利益剰余金の増加	+4,182

単位:百万円

	23.1期
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,392
投資活動によるキャッシュ・フロー	-1,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	-1,703
現金及び現金同等物の増減額	3,103
現金及び現金同等物の期末残高	11,137

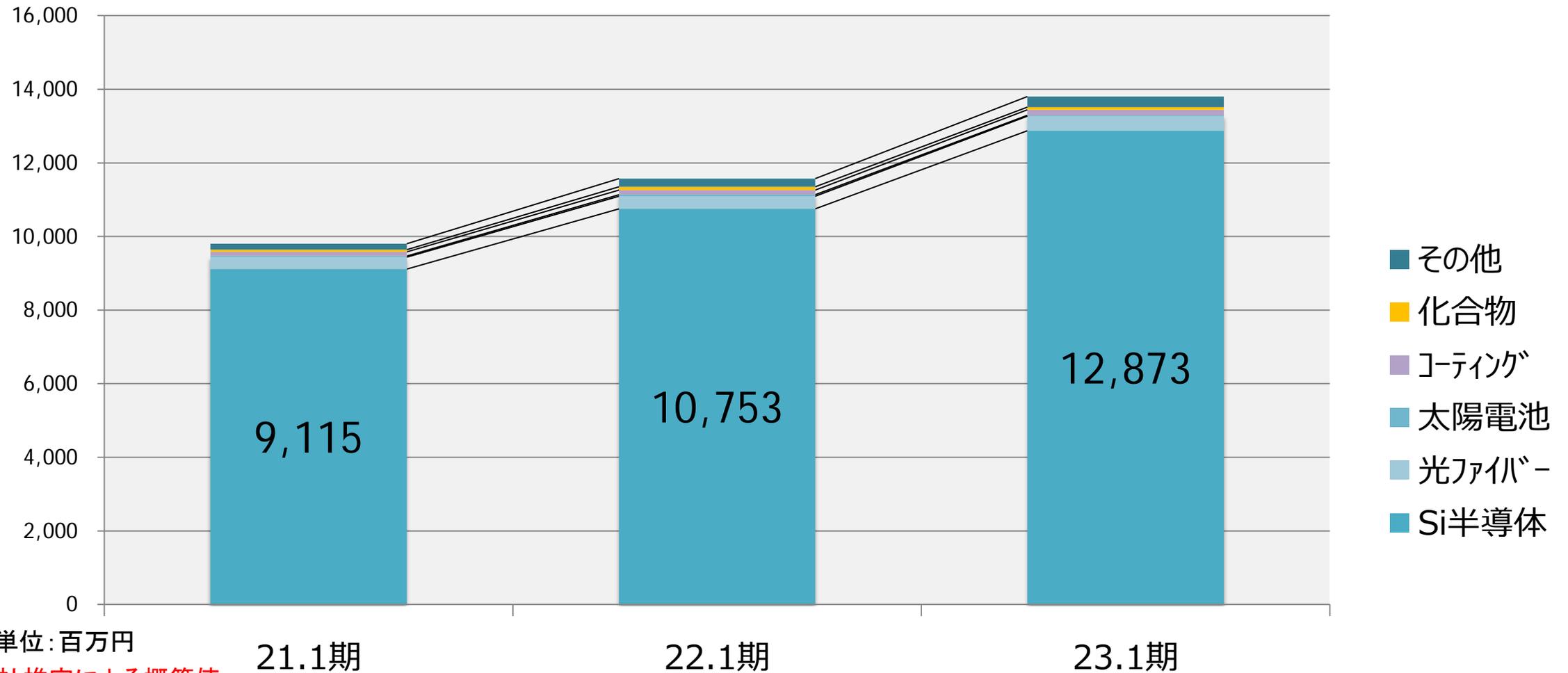
CFの状況

営業CF	税前当期利益計上	+6,186
	利息・配当金の受取額	+3,892
	持分法による投資損益	-2,409
	法人税等の支払額	-1,519
投資CF	有形固定資産の取得	-1,529
財務CF	借入金の返済	-961
	配当金の支払額	-649

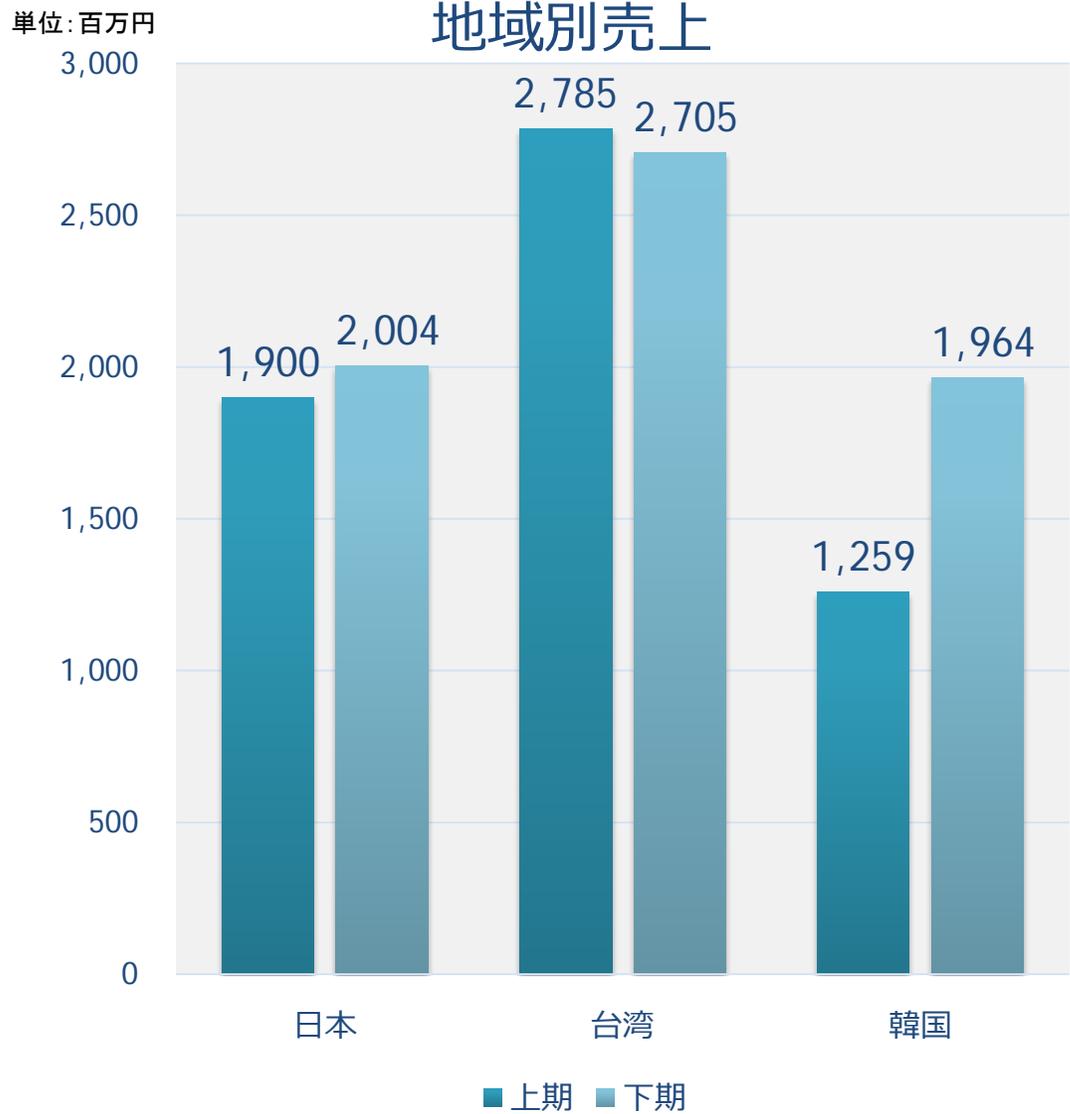


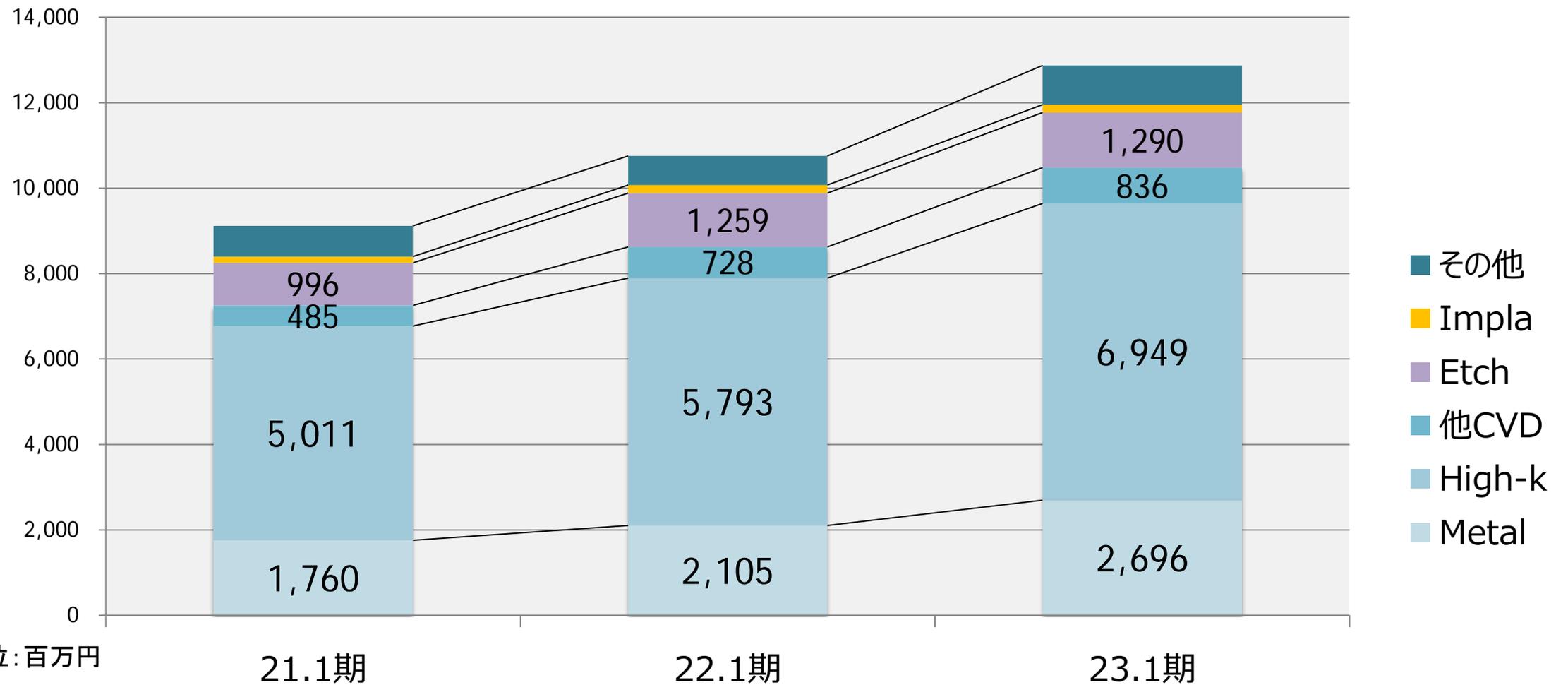
※当社推定による概算値

韓国向け売上の大幅増



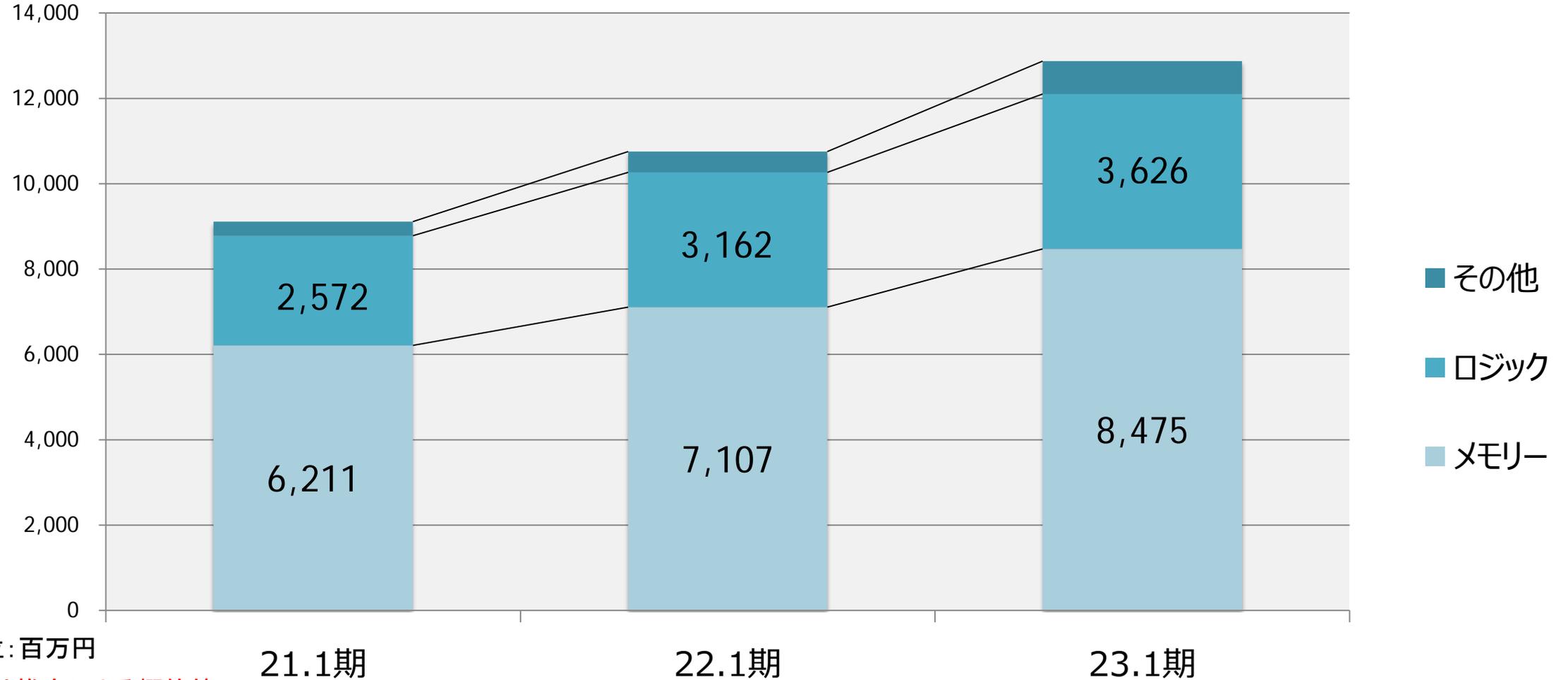
半導体向け売上は順調に推移



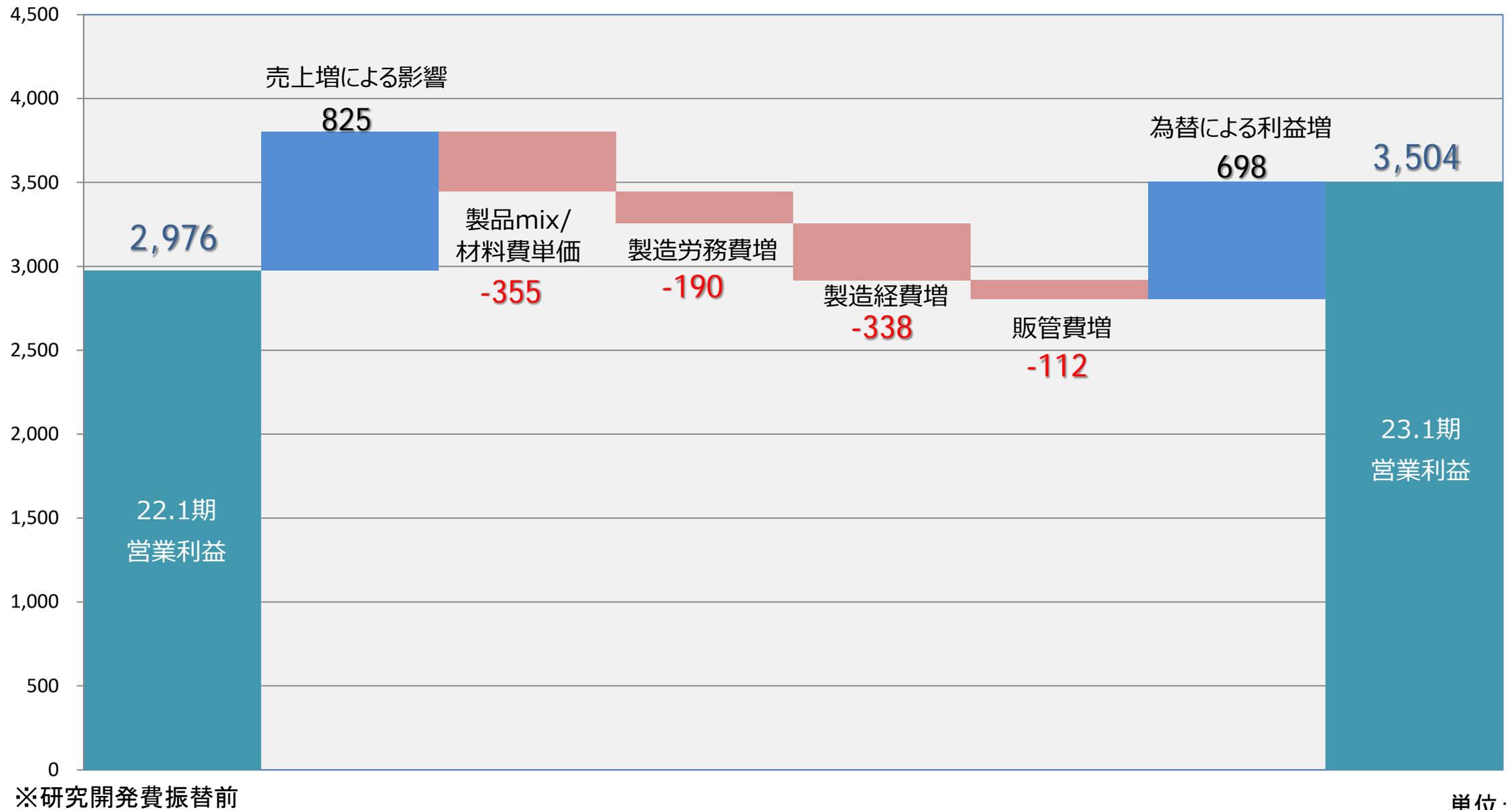


※当社推定による概算値

High- k ・Metalの大幅成長



メモリーは世代交代・ロジックは数量増が成長の主因



2. 2024年1月期業績計画

単位：百万円

	23.1期実績	24.1期計画	(ご参考) 増減率
売上高	13,803	15,400	11.6%
営業利益	3,504	3,500	-0.1%
経常利益	6,186	5,450	-11.9%
当期純利益	4,832	4,250	-12.1%

為替は137円/米ドルに設定 (24.1期営業利益感応度は1円≒20百万円)

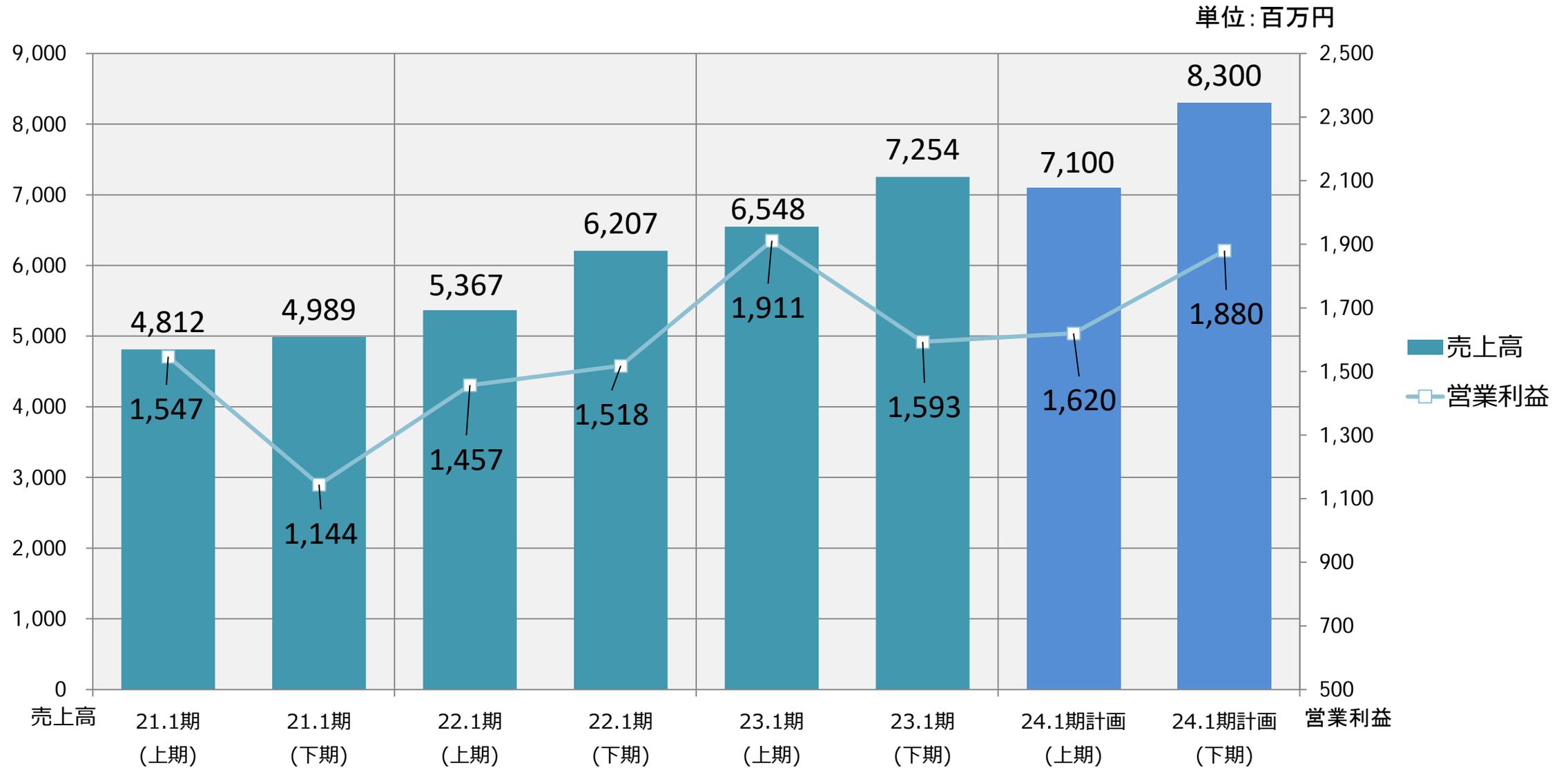
- ・持分法投資利益24億→20億
- ・23.1期に計上の為替差益等約3億が前期比減少

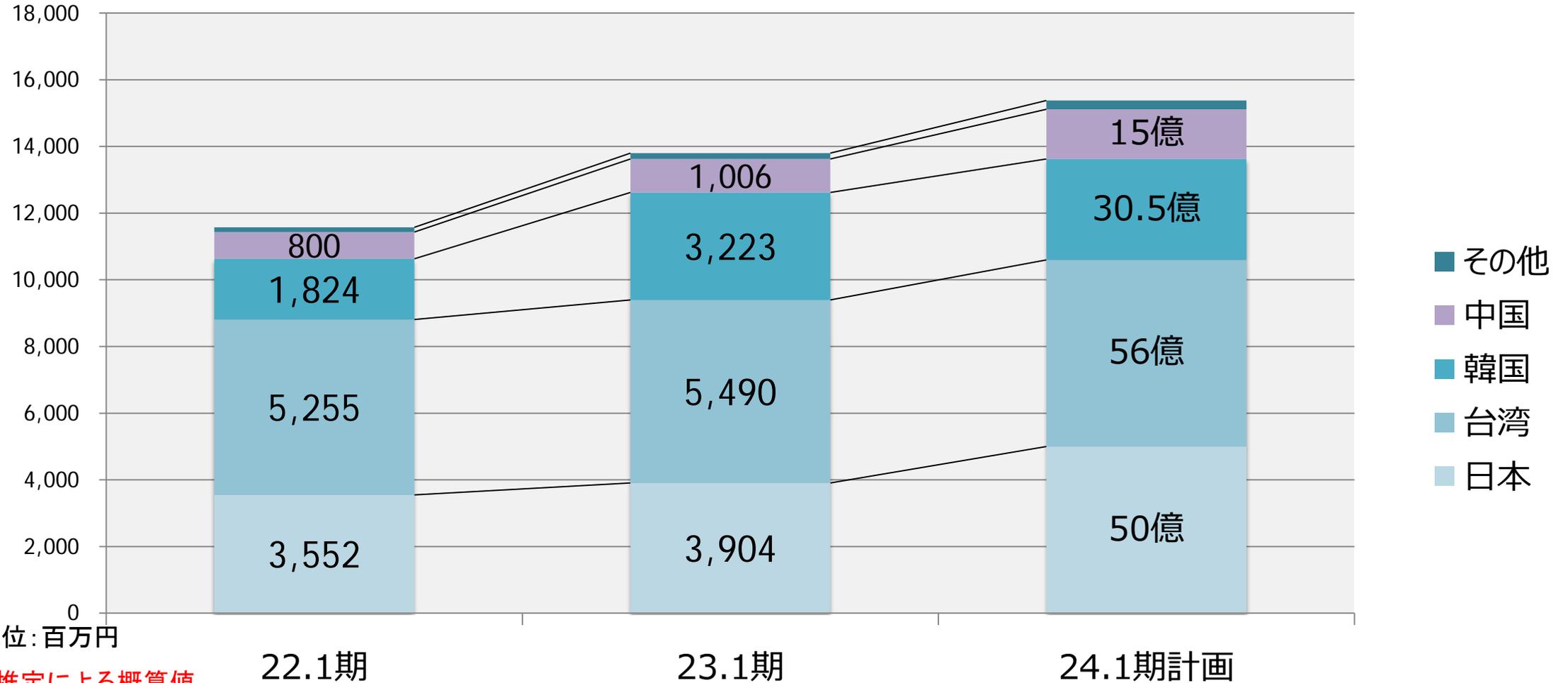
外部環境

- メモリー・ロジックとも直近での稼働は軟調
- 先端半導体の稼働落ち込みは2Qより徐々に回復を見込む
- 原材料費、経費等は引き続き上昇もしくは高止まり傾向
- 韓国ユーザーは地政学リスクの影響を受ける可能性あり

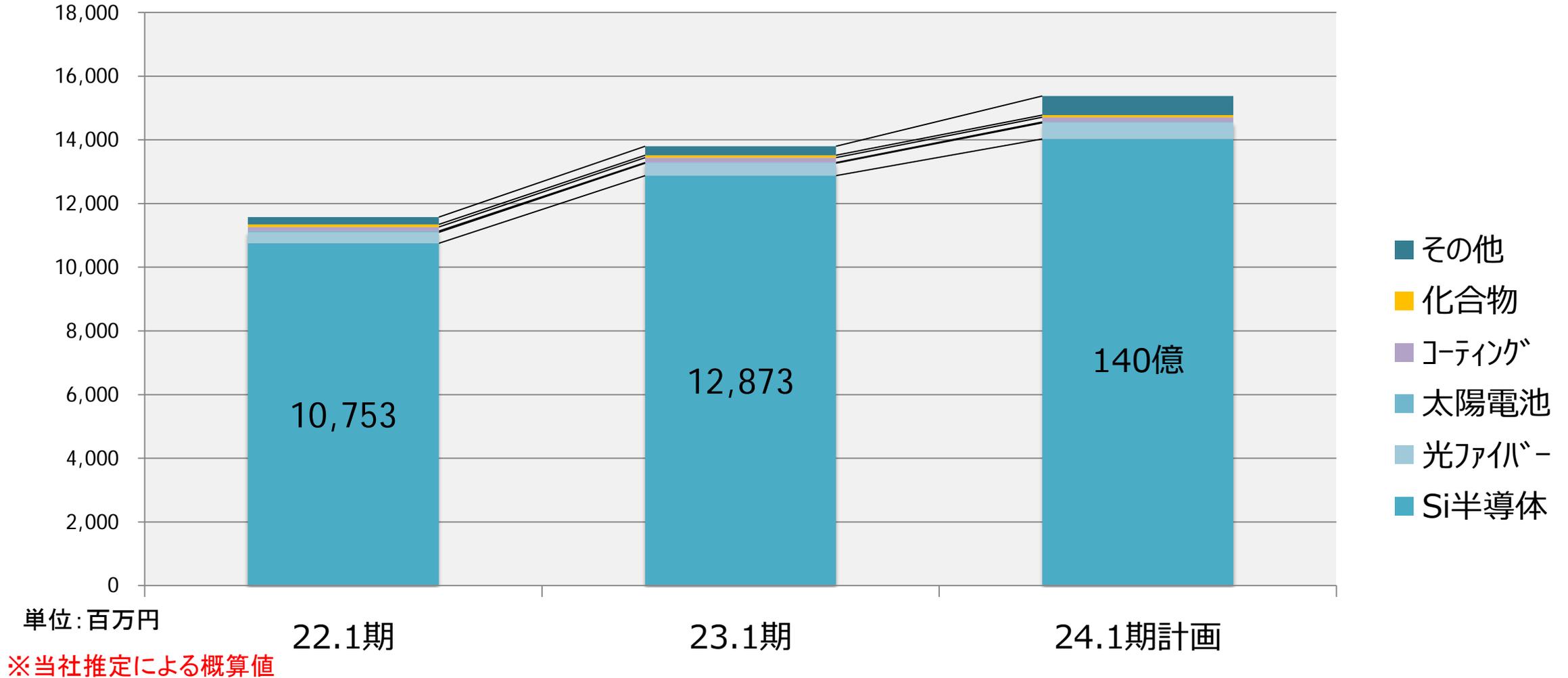
今期の取り組み

- 半導体・製造装置メーカー等と連携した次世代半導体向け材料の開発
- 新規材料の量産体制の早期構築
- 生産の効率化、安全・品質管理の強化
- 台湾子会社の出荷増に向けた活動の継続

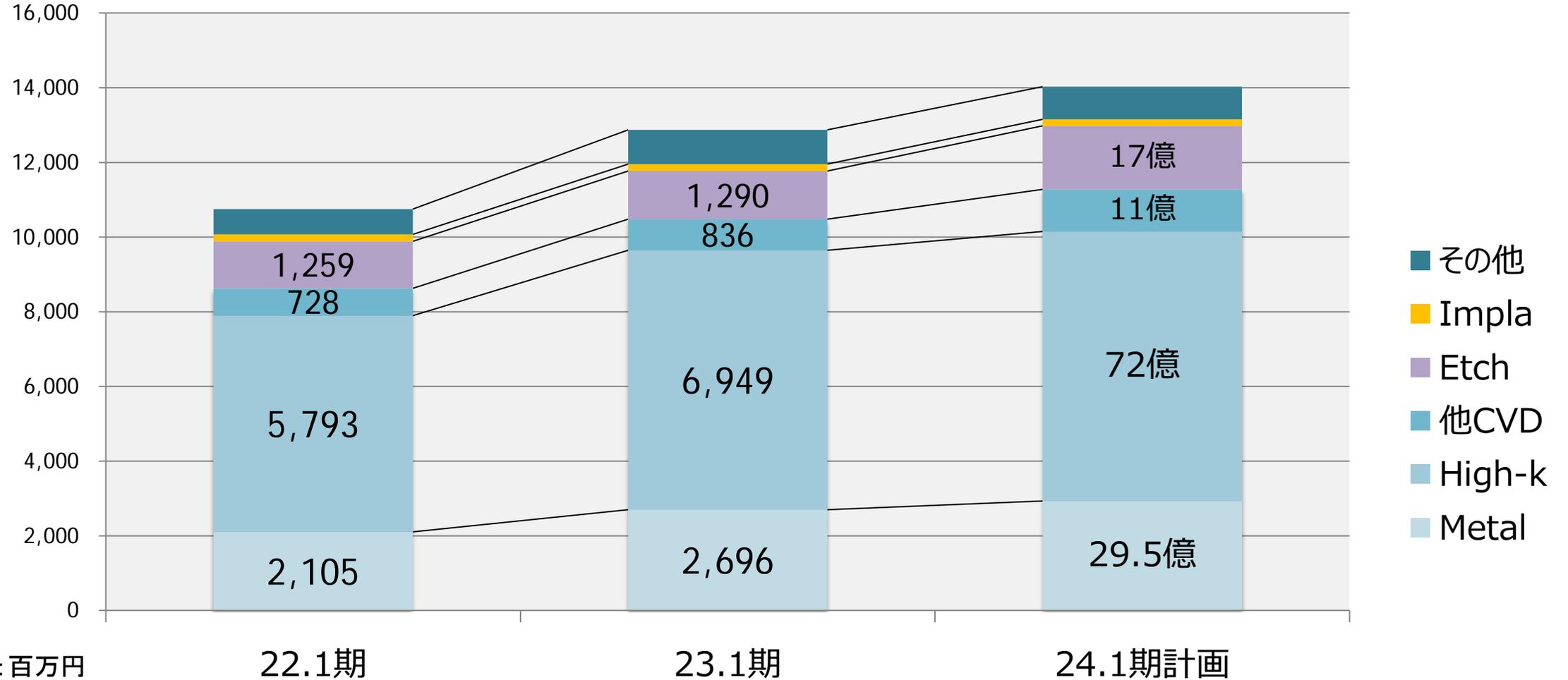




日本・中国向け売上を中心に成長

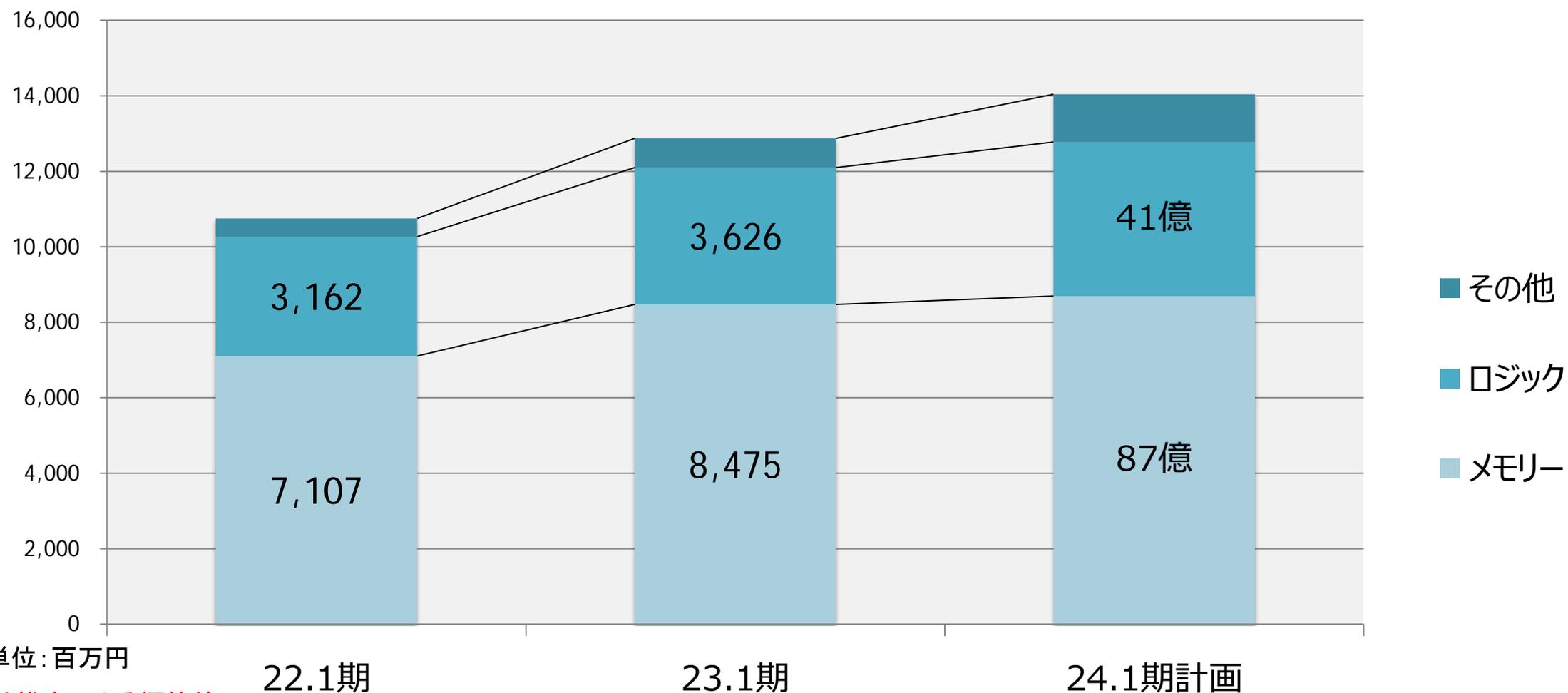


半導体向け材料は後半を中心に持ち直し



単位:百万円
 ※当社推定による概算値

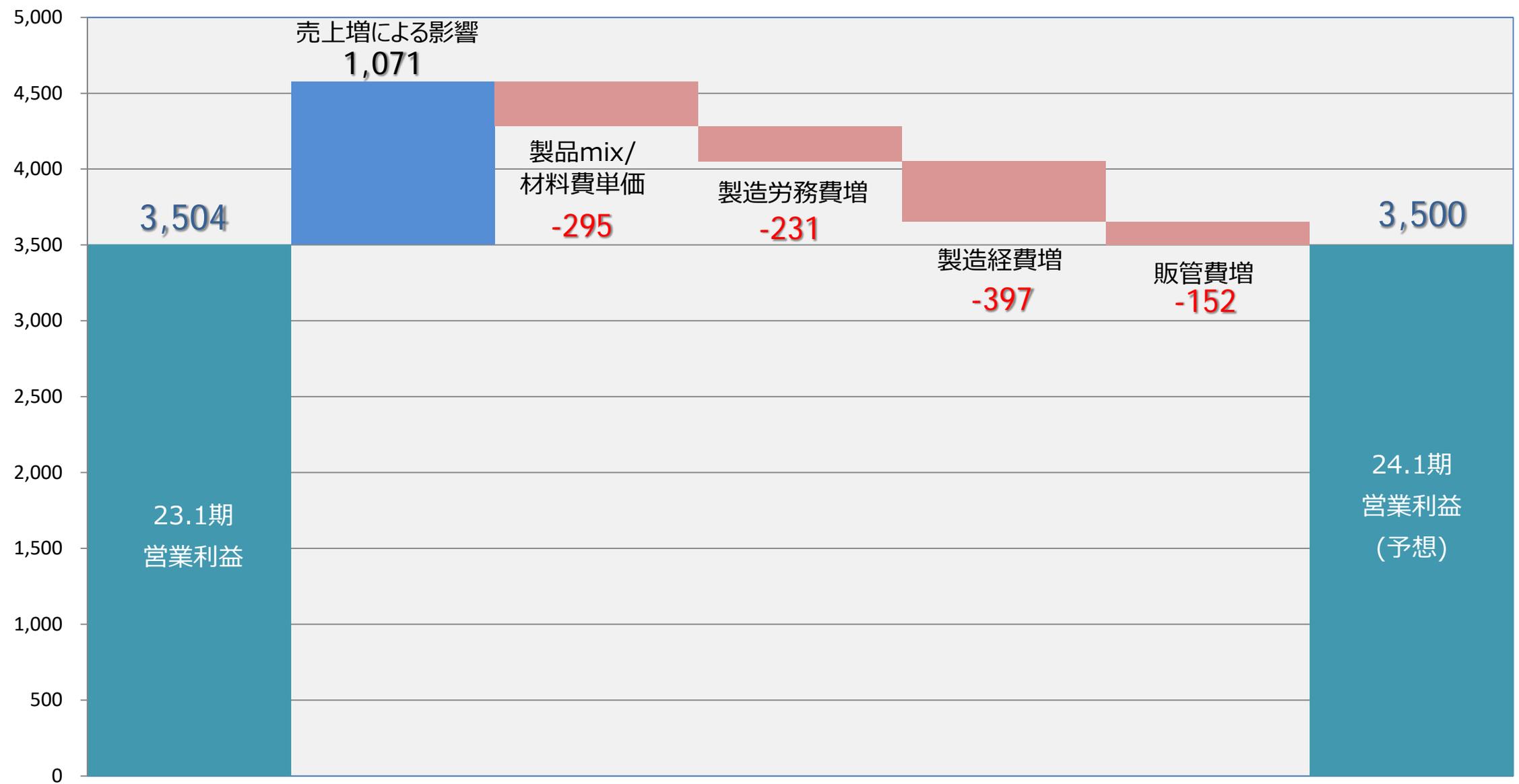
エッチング材料・CVD系材料が堅調



単位:百万円

※当社推定による概算値

メモリー向け・ロジック向けともに成長



※研究開発費振替前

単位: 百万円

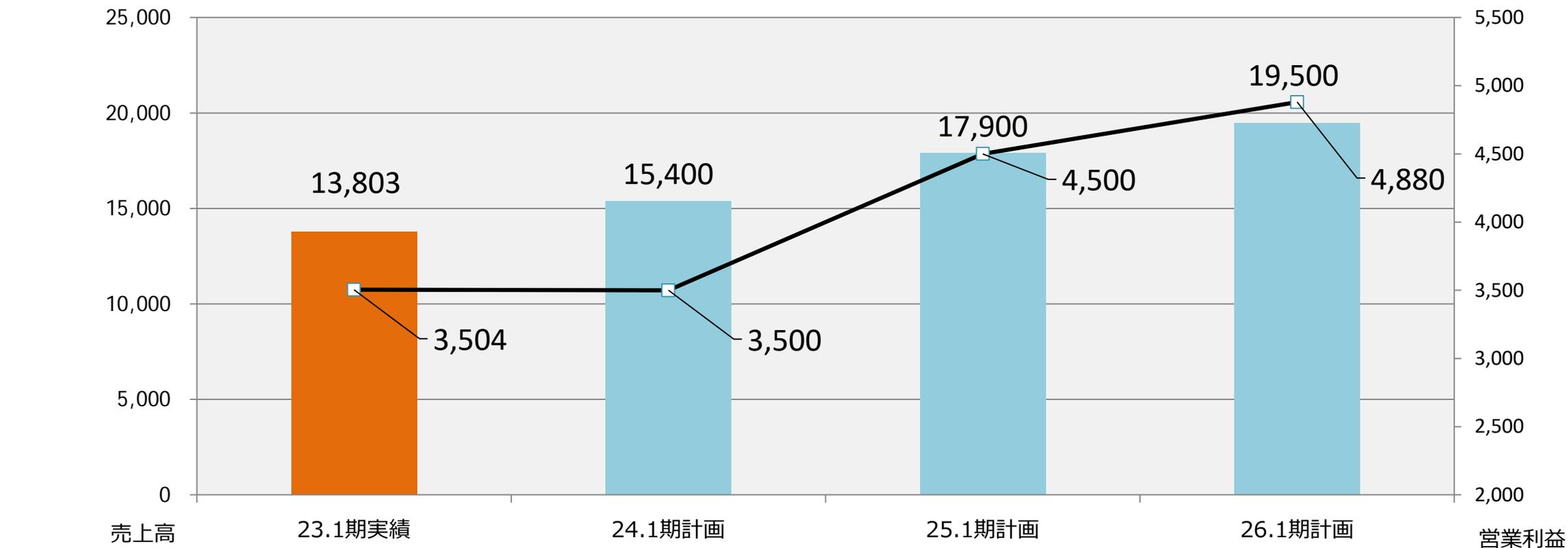
3. 中期経営計画

中期経営計画の前提

1. 半導体業界は24.1期前半は低調も徐々に成長を回復
2. 為替は1米ドル = 137円に設定
3. 現時点で予測される購入・販売価格の変動は織り込み済み
4. 新工場建設、台湾子会社業務拡大を見越した労務費・経費増加傾向は継続
5. 設備投資計画及び償却費推移(概算額・百万円)

	24.1期	25.1期	26.1期	3期合計
投資総額	3,337	3,685	1,486	8,508
償却費総額	1,359	1,537	1,803	—

6. 増員計画 20名程度/毎期の増員
7. 持分法損益 3年ともに約2,000百万円/年を持分法利益として見込む



売上高
単位：百万円

	23.1期実績	24.1期計画	25.1期計画	26.1期計画
売上高	13,803	15,400	17,900	19,500
営業利益	3,504	3,500	4,500	4,880
経常利益	6,186	5,450	6,480	6,860
当期純利益	4,832	4,250	4,970	5,240

	23.1期実績	24.1期計画	25.1期計画	26.1期計画
売上高	13,803	15,400	17,900	19,500
営業利益	3,504	3,500	4,500	4,880
売上高増加額	—	1,596	2,500	1,600
売上高 営業利益率	25.4%	22.7%	25.1%	25.0%

単位：百万円

営業利益25%程度の維持を目標

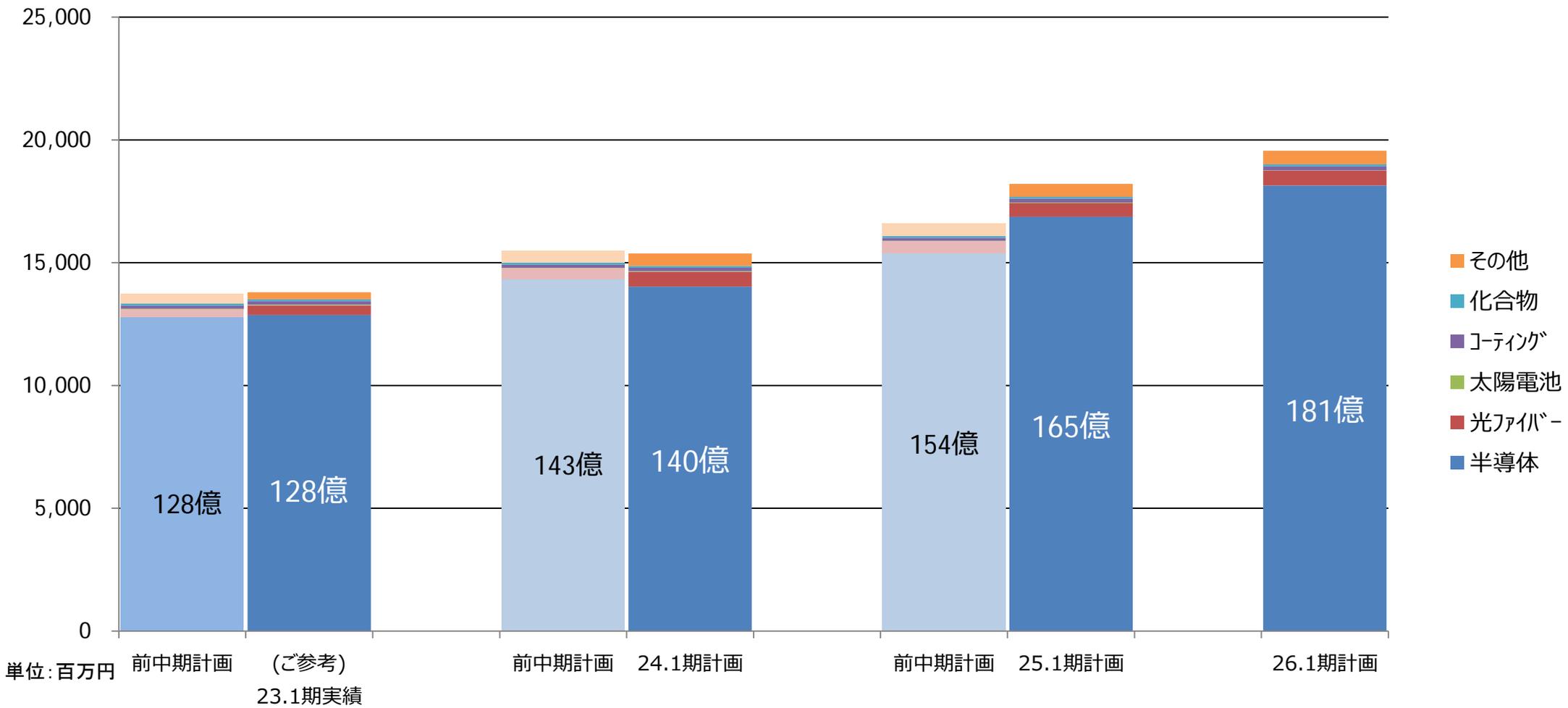
外部環境

- 国内外半導体メーカーの工場新設・能力増強は継続
- 半導体微細化・高性能化により材料、プロセスは進化
→次世代半導体に向けた新材料ニーズ・高性能化の需要は継続

当社の取り組み

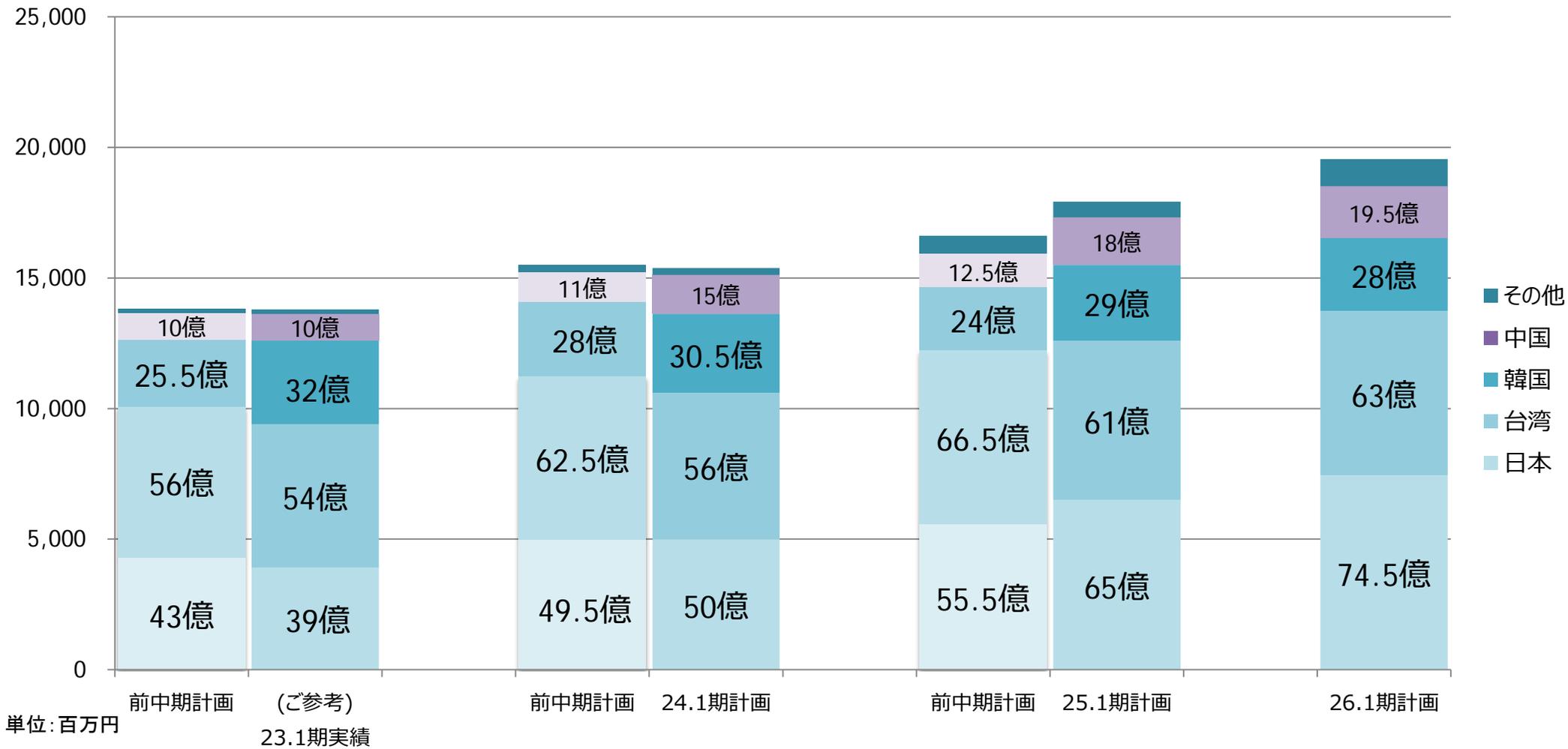
- グループにおける生産・開発能力向上を継続
 - ・次世代新規材料を中心とした量産体制構築・自動化(新工場建設)
 - ・台湾子会社工場の生産能力強化
 - ・安全・品質・コスト管理体制の向上
 - ・拠点の増加に伴う事業継続計画の改善・サステナビリティ活動の追求

中期販売計画(製品用途別)※前中期計画との比較含む



半導体向けは成長に加え微細化に伴う新規材料も

中期販売計画(地域別)※前中期計画との比較含む



3年で日本・台湾向け中心に成長を目論む

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。

あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことをあらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先 : homepageinfo2@trichemical.com